

平成24年度下期 福島第二品質監査部 活動状況報告

原子力品質監査部 福島第二品質監査部

1. 業務品質監査

(平成24年度下期分)

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
品質・安全部 品質保証グループ	H24.12.5～H24.12.19	原子力関係業務に係わる安全文化の監視業務、安全文化指標の運用状況、ならびに直営作業時の災害防止に向けたマネジメントオブザベーション(管理職による現場観察)の検討状況について確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 震災前の水準で実施できていない業務について、発電所の現状を踏まえて優先順位を再検討し、業務計画に反映することを要望する。 【良好事例】なし
総務部 労務人事グループ	H24.10.11～H24.10.30	震災後の緊急時態勢下において、厚生班の業務遂行のために、適切な要員配置がなされているか等を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし
総務部 教育管理グループ	H24.11.2～H24.12.7	震災後の発電所の現場環境、業務状況の変化を受けて、福島事故に鑑みた発電所員の力量確保に向けた以下の取り組み等について確認した。 (a)現業技術・技能認定研修 (b)福島事故を教訓とした教育・訓練、育成 (c)所員の業務直営化の実践力向上研修、安全管理研修	【指摘事項】なし 【要望事項】 発電所大での安全管理教育計画を策定するなどして、人身災害発生防止を図る基盤を構築することを要望する。 【良好事例】 シミュレーターを用いた「津波アクシデントマネジメント訓練(地震、津波、外部電源喪失、制御電源喪失の重複発生を想定)」プログラムを、他発電所に先がけて作成し、導入していた(他発電所へも水平展開済み)。
広報部 行政広報グループ	H24.12.11～H25.1.29	新たに通報連絡協定を締結した福島県内6市町村や、「原子力発電所の安全確保に係わる連絡体制等に関する覚書」を締結した栃木県、群馬県への通報連絡等の対応状況を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし
運転管理部 作業管理グループ	H24.12.4～H25.1.25	福島事故の教訓を受けて、重要設備の状態監視や緊急時対応等を目的として設置された、ハイパーメンテナンsteam(HMT)について、原子力・立地本部全体の状況に即した体制となっているか、設置目的・期待事項に沿った業務が行われているか等を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 HMTの業務内容や教育訓練の目的・計画・実績をパワーポイント等の資料に分かり易くまとめ、新任者や経営層への説明に活用していた。また点検実績や訓練予定・実績をイントラネット上に掲載し、部内および他グループへの情報提供、所内周知を図っていた。
技術総括部 放射線安全グループ 運転管理部 放射線・化学管理グループ	H24.12.20～H24.12.20	監査対象業務として「放射線管理業務」を選定し、当社における放射線被ばく管理の取り組み状況について、関連部門も併せ組織横断的に確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 不適合報告書の処理が遅滞無く確実に出来るような仕組みの構築を要望する。 【良好事例】なし
防災安全部 防災安全グループ	H25.2.15～H25.4.17	震災後の災害発生防止活動や安全管理の状況を確認した。また、省令の改訂に伴う防災業務計画の改定作業状況並びに防災業務計画、原子炉保安規定に基づく「平成24年度原子力防災訓練(緊急時演習)」の対応状況を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし
保全部 保全革新グループ	H25.2.21～H25.4.9	震災後、設備の長期停止を継続する中で、保全方式をTBM(時間基準保全)からCBM(状態監視保全)に変更するにあたり、方針の策定や手続き等の対応状況を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 福島第一の高線量・重汚染区域に設置されている重要設備の遠隔振動診断を、発電所の枠を超えて福島第二保全革新グループメンバーによる直営作業により実施した。

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
保全部 電気機器(1・2号/3・4号)グループ	H25.2.27 ~ H25.3.21	長期停止を伴った保全を実施するために策定された「特別な保全計画書」への対応状況，ならびに設備機器点検・復旧作業における安全管理や工程管理の状況等を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 点検記録の管理のため使用している電気設備保守管理システムに対して，電子的侵入テストの実施を計画することを要望する。 【良好事例】 安全対策仕様書に記載している要注意作業に対する理解を向上させるため，メンバーが持ち回りで講師役を務める形式で研修を行っていた。
広報部 地域広報グループ	H25.3.28 ~ H25.4.19	震災以降，立地町村の役場機能及び住民が遠隔地へ避難されている現状を踏まえた，情報収集や情報提供の状況，ならびに被災者の方々の「声の分析」の実施状況等を確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 福島県内外からの要望等の声に対して，「地域対応実績・管理表」を作成し，声の種類や対応者毎に分類し，1週間以内の初期対応を図っていた。

平成 25 年 5 月末時点

(平成 24 年度上期からの継続分)

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
運転管理部 当直(1・2号)	H24.9.3 ~ H24.9.7	震災以降，発電所の状況が大きく変化し，運転員の緊急時対応体制への迅速な移行や力量の維持等，運転員に対する要求が変化していることを受け，特に若年層に対する研修の実施状況ならびに運転員の配置や力量確保の状況について確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし

平成 25 年 5 月末時点

2. 特別監査
対象なし

以 上